

※記載例は、公開情報に基づき、実際の実施事例を改変して作成しています。

地域企業グループチャレンジ促進事業 企画提案書

取組名		廃棄プラスチックを再資源化した「リサイクルベンチ」の開発と水平展開による地域内サーキュラーエコノミーの実現
支援対象事業の区分 (該当するもの1つに●)		● ① 新規事業への挑戦(これまでとは異なる新製品・新技術の開発、新市場への参入等)
		② 新たなソリューションを活用した競争力強化の取組
		③ ①と②両方に関連する取組
中核企業	名称	A株式会社
	住所	東京都新宿区×× ○-○-○ ▲▲ビル1階
	代表者名	○○ ○○

提案書要約

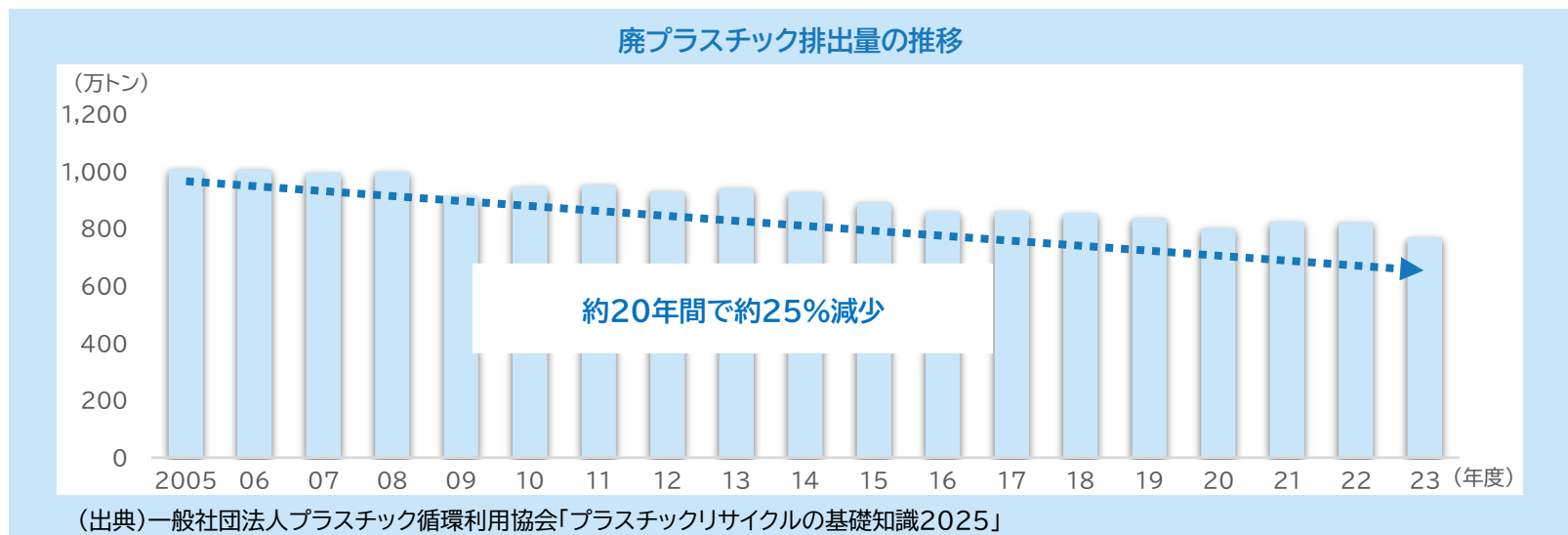
本取組の背景となる 経営課題・問題意識	● 廃棄物処理業(A社)では、原料となるプラスチックゴミ廃棄量が減少しており、今後もさらなる落ち込みが想定される。 ● アパレル製造・卸売業(B社・C社)における布地のロス率低減は構造的な課題であり、近年では環境負荷低減の観点から、顧客(小売業)や消費者からの要請も年々強まっている。
本事業によって目指す姿	本事業で開発する「リサイクルベンチ」の水平展開を足掛かりとして、回収～再資源化～生産～販売が地域内で循環する「サーキュラーエコノミー型」のサプライチェーンを構築する。
本事業における 取組内容	● 地域のクリーンセンター及び異業種の中小企業4社と連携し、廃棄されたプラスチック●●●を再資源化した「リサイクルベンチ」を開発する。 ● 2026年度は、試作品の製造(■台程度)・試作品の試験展示及びテストマーケティングを行う。2027年度は、2026年度の実績結果を踏まえて試作品の改良を行う。また、全国への水平展開を目指し、年間xxxx台の生産に対応できる地域内のサプライチェーンを構築する。 ● 「地域企業グループ」の役割分担について、A社は廃棄プラスチック●●●を回収・再資源(ペレット)化を行う。B社・C社はベンチの張地として使用する廃棄予定の布生地を供給し、D社がベンチの芯材に張り込む。また、販路開拓はE社、ペレットを原料としたベンチ芯材の製造はF社がそれぞれ担う。
達成目標	中間目標 (KPI) ● 「リサイクルベンチ」の試作品(▲台程度)の製造 ● 試作品の試験展示(××カ所程度) ● テストマーケティングの実施(ベンチの利用者○名程度、ベンチのターゲット顧客である企業○社程度)
	最終目標 (KGI) ● 改良した「リサイクルベンチ」の製造(●台程度) ● 地域内のサプライチェーンの構築(クリーンセンター○カ所、張地の供給元○社)
期待される効果 取組によって	売上・付加価値・生産性の向上 ● 「リサイクルベンチ」を年間xxxx台を販売した場合の総売上高:●億円 ● 廃棄プラスチック■t、廃棄予定の生地■■■ mの再利用
	「地域企業グループ」におけるビジネスモデルや業務プロセスの変革 ● 廃棄物処理業者からリサイクル商品を企画・設計する「リサイクルメーカー」への業態転換 ● 地域における動脈(製造・販売)産業と静脈(廃棄物回収・処理)産業が連携することで、双方にとって新たな収益源を生むサーキュラーエコノミー型のビジネスモデルを構築
	同業種や地域への波及効果 ● 「リサイクルベンチ」のサプライチェーンを地域内で構築することで、地域における廃棄物処理業者(●社)、張地の供給元となるアパレル業、繊維卸売業、なめし革加工業(タンナー)等が、廃棄物や在庫となった残材を有効活用し、新たな収益源を獲得できる。

1. 本取組の背景となる経営課題・問題意識

- ※ 地域における外部環境の変化や中核企業及び構成企業の経営状況等を踏まえ、本取組の背景となる経営課題や問題意識を記載してください(可能な限り「地域企業グループ」として共通的な課題を記載ください)。
- ※ 定量的なデータを用いる等、可能な限り具体的に記載してください。
- ※ 「1. 本取組の背景となる経営課題・問題意識」で最大1ページとしてください。

● 課題①:廃棄物処理業(A社)におけるプラスチックゴミ廃棄量の減少:

- ・ A社は、〇〇年の創業以来〇年にわたって、自動車部品等の工場で生じる成型不良やスクラップのプラスチックを仕入れ、自社でブレンド・ペレット化したりリサイクルペレットの販売を手がけてきた。
- ・ しかしながら、昨今の脱炭素化の進展により、当社製品の原料となるプラスチックゴミの廃棄量は、2005年度からの約20年間で23.6%減少し、今後もさらなる落ち込みが想定される。
- ・ こうした環境変化に対応するため、当社はこれまで廃棄物処理やリサイクル・ペレットの販売で培った再資源化技術を活用し、単なるリサイクル処理事業から、リサイクル商品を自ら企画・設計・開発するメーカー機能を強化していく必要がある。



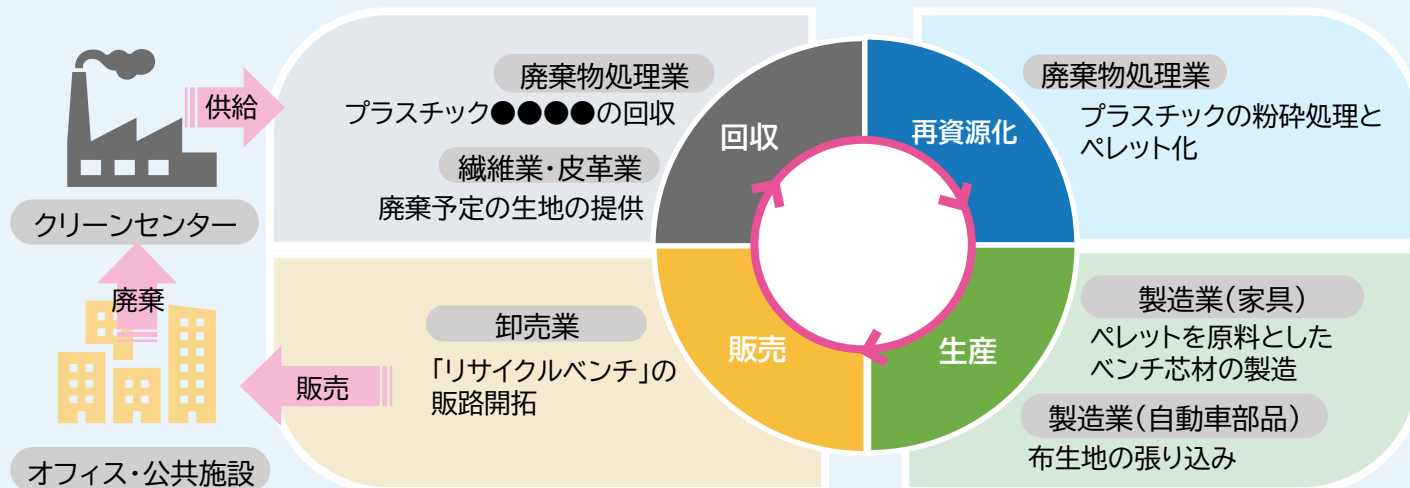
● 課題②:アパレル製造・卸売業(B社・C社)におけるロス率の低減:

- ・ アパレル業界における一般的な歩留まり率は●%程度であり、製造過程において●%の端材・残布が発生している。また、年間■■■tの在庫布地が廃棄処分されている。
- ・ これらのロス削減は従来からの構造的な課題であったが、近年では環境負荷低減の観点から、顧客(小売業)や消費者からの要請も年々強まっている。

2. 本事業によって目指す姿

- ※ 「1. 本取組の背景となる経営課題・問題意識」を踏まえ、本事業を通じて中長期的に目指す将来像を記載ください。
 (本事業の支援期間中の短期的な目標ではなく、支援終了後を含めて将来的に「地域企業グループ」として目指す姿を記載してください)
- ※ 「2. 本事業によって目指す姿」で最大1ページとしてください。
- 本事業で開発する「リサイクルベンチ」の水平展開を足掛かりとして、回収～再資源化～生産～販売が地域内で循環する「サーキュラーエコノミー型」のサプライチェーンの構築を目指している。
 - これにより、サプライチェーンの各工程を担う地域の企業や産業にも新たな成長や事業転換の機会を提供し、地域全体の持続的発展に寄与する。
 - ・ 回収(廃棄物処理業や繊維業・皮革業): 廃棄物や工場で出た端材、過剰在庫等を新たな商品として再生できる
 - ・ 再資源化(廃棄物処理業): 処理量が減少している廃棄物処理業に新たな需要が生まれる
 - ・ 生産(製造業(家具製造・自動車部品製造等)): 新たな加工・製造の需要が生まれる
 - ・ 卸売業: 既存製品と差別化されたリサイクル製品を販売することで、新たな販路や顧客を開拓できる

「リサイクルベンチ」の水平展開による「サーキュラーエコノミー型」サプライチェーンのイメージ



3. 本事業における取組内容(1/2)

- ※ 「2. 本事業によって目指す姿」を実現するために本事業で取り組む内容を、項目別に記載してください。
- ※ 「3. 本事業における取組内容」で最大2ページとしてください。
- ※ 必要に応じて、各項目の枠の大きさや数を調整してください。

取組項目(1) 廃棄プラスチックを再資源化したリサイクルベンチの試作

- 当社が所在する都心・副都心地域のクリーンセンター(ゴミ処理施設)から廃棄されたプラスチック●●●●●を回収し、ペレット原料への再処理を行う。
- リサイクルペレットを原料として、B社がベンチの芯材を製造する。
- C社及びD社が、廃棄予定の自社製品の布生地を提供する。
- 提供された布生地を、E社がベンチの芯材に張り込む。

ペレット化の工程写真

「リサイクルベンチ」
試作品のイメージ図

取組項目(2) 試作品の試験展示とテストマーケティング

- 取組項目(1)で製作した試作品を市内の公共施設(市役所、商工会議所、病院、学校等●カ所程度を想定)で展示し、本ベンチの認知度向上を図るとともに、施設の利用者(BtoC)や施設運営者に対してアンケートを実施する(●名程度)。
- また、E社が有する顧客網を活用し、本ベンチの想定顧客(BtoB)に対してニーズ調査を行う(●社程度)。

取組項目(3) 試作品の改良

- 取組項目(2)で得られたテストマーケティングの結果を基に、試作品を改良する。
- 例えば、業務用ベンチとしては布生地ではなくレザー生地の張地のニーズが高いため、高品質な廃棄予定のレザー生地を集める必要があること、ベンチが経年劣化した後は再び廃棄処理されるため、プラスチック部分を再利用できるように生地を張り込みからカバーリングに変更する等して、ベンチ全体を再リサイクルが可能な構造に改良することが想定される。

3. 本事業における取組内容(2/2)

取組項目(4) 全国への水平展開を目指した地域内サプライチェーンの構築

取組項目(1)～(3)の結果を基に、全国への水平展開に向けて地域内のサプライチェーンを構築する。

① プラスチックゴミの大規模回収網の構築

- ・ クリーンセンター1カ所で廃棄されるプラスチック●●●の年間廃棄量(約■t)でベンチxx台の生産に相当する。年間生産台数xxxxxに向けて、地域内外のクリーンセンター▲カ所と連携し、計■■tの回収網を構築する。

② 廃棄予定の布／レザー生地 の供給元の開拓

- ・ 年間xxxx台を製造するために約xxxx㎡の張地が必要となるため、その供給元となる地域内外のアパレルメーカー・商社等(●社程度)を開拓する。
- ・ 特に、レザー生地 の供給元が不足しているため、都内のタンナー(なめし革業者)へのアプローチを強化する。

③ 「リサイクルベンチ」の製造元となる大手メーカーとの連携

- ・ 年間xxxx台のベンチの製造・組立を担う大手メーカーと製造委託契約を締結する。

④ 販路の開拓

- ・ 設備機械の専門商社であるE社を中心に、全国の公共施設や不動産ディベロッパーを主要ターゲットとして、「リサイクルベンチ」の販路を開拓する。
- ・ また、展示会や地域で開催される野外イベントに出展し、ベンチの認知度向上を図る。

4. 取組における強み

- ※ 取組の特徴と、取組に活用できる各社の技術・製品、ネットワーク、過去の実績を記載してください。
- ※ 必要に応じて、各項目の枠の大きさを調整してください。

(1) 取組の特徴(既存事業との違い／類似の取組との差別化要因／優位性／新規性 等)

● サーキュラーエコノミー型のビジネスモデル:

本取組は、単なる新規事業の開発ではなく、これまで廃棄処分されていた資材を再資源化し、それらを原料として新たな製品を開発するサーキュラーエコノミーの実現に資するものである。サーキュラーエコノミーは脱炭素化に向けた新たなビジネスモデルとして期待が大きいものの、地域内で実現した成功事例は全国的にも未だ少ない。

● 「動脈産業」との連携体制:

サーキュラーエコノミー型のビジネスモデルの構築には、製造・販売を担う「動脈産業」と廃棄物回収・処理を担う「静脈産業」という、普段接点が少ない異業種による「動静脈連携」が不可欠である。当社は、これまでの取組を通じて、同業の「静脈産業」だけでなく、アパレル資材の卸売業者(B社・C社)やリサイクル製品の製造を担う加工業者(D社)等「動脈産業」のステークホルダーとのリレーションをすでに構築しており、実現可能性の高い体制を有している。

● 商社や大手メーカーとの連携による出口戦略:

リサイクル／アップサイクルされた製品は、通常製品に対して高価格になりやすいため、開発に成功しても持続可能な売上を確保することが難しい。これに対して本取組は、販売を担う専門商社(E社)を巻き込むことで、開発段階から販路を確保している。また、市販化後の量産体制についても、業務用家具や施設家具の製造・販売を手がける大手メーカー(F社)と本取組で開発する「リサイクルベンチ」の製造委託契約について交渉を進めている。

(2) 取組に活用できる「地域企業グループ」の技術・製品、ネットワーク、過去の実績(売上・受賞・メディア掲載等)

- A社は、地域の企業と協業して多くの再生製品を開発した実績を有しており、地域におけるサーキュラーエコノミーやSDGsの取組を牽引している。例えば、20xx年に開発した「××××××××」は、古くなったプラスチック製×××を地域の■■店から回収してチップ化し、再度×××にリサイクルして地域内の小売店やホテルに販売している。リサイクルした×××が古くなれば再び粉碎・融解・チップ化し、同じ工程で100%同じ×××にすることが可能であるため、販売価格を新品と同程度に抑えることに成功した。【⇒「7. 補足資料」を参照】
- B社は、アパレル資材の製造から廃棄までの過程を通じた環境負荷の低減に取り組んでおり、20xx年度に採択された「●●事業」において、地域のデザイナー5人と協力し、工場で生じる端切れ生地をアップサイクルした●●●●を製造した実績を有している。本取組により、20xx年度に一般社団法人■■■■機構の「第●回××××アワード」■■賞を受賞。【⇒「7. 補足資料」を参照】
- また、A社及びE社は、既存のリサイクル製品の製造・販売における連携実績がある。

5. 取組体制(1/3)

- ※ 「地域企業グループ」を構成する中核企業(1社)と構成企業(2社以上)について記載ください。
 ※ 構成企業が3社以上の場合は行を追加してください。また、必要に応じて、各項目の枠の大きさを調整してください。
 ※ 原則、中核企業および構成企業の50%以上が同じ地域に事業所等を有する必要があります。
 ※ 「地域企業グループ」の「所在地域」については、募集要項2ページを参照してください。

(1)地域企業グループの体制

区分	名称	所在地域	事業概要	本事業における役割
中核企業	A株式会社	都心・副都心	● 廃棄物処理やリサイクル・ペレットの販売 ● リサイクル商品の企画・設計・開発	● 全体とりまとめ ● 「リサイクルベンチ」の企画・設計 ● 全国水平展開モデルの構築
構成企業①	B株式会社	都心・副都心	● ××××の製造 ● その他インテリア資材の販売	● 「リサイクルベンチ」の張地として、廃棄予定の自社製品を提供
構成企業②	C株式会社	都心・副都心	● 繊維産元商社	● 「リサイクルベンチ」の張地として、廃棄予定の自社製品を提供
構成企業③	D株式会社	北多摩	● 自動車のシートカバー製造	● 「リサイクルベンチ」のシートカバーを製造
構成企業④	E株式会社	城西	● 設備機械の専門商社	● 「リサイクルベンチ」の販路開拓

5. 取組体制(2/3)

- ※ 「地域企業グループ」以外に本取組に参画する協力機関(企業・団体等)がある場合は記載ください。
 ※ 必要に応じて、各項目の枠の数や大きさを調整してください。

(2)その他の協力機関

協力機関名称	協力機関区分(該当するものに●)							事業概要	本事業における役割
	大企業	中小・SU	公的機関	研究機関	組合・団体	支援機関	その他		
F株式会社	●							業務用家具、施設家具の製造・販売	● リサイクルペレットを原料としたベンチ芯材の製造
〇〇区クリーンセンター			●					廃棄物回収・処理	● 「リサイクルベンチ」の原料となる廃棄プラスチック●●●の供給

(3)本取組による成果((所有権や知的財産権)の帰属や利益分配(金銭的・非金銭的な利益を含む)の考え方

- 本事業で開発した「リサイクルベンチ」の知的財産及び商標はA社が保有する。
- 「リサイクルベンチ」の市販化後は、大手メーカーが製造元となり、A社・B社・C社・D社・F社に再資源化及び部材供給・加工の工賃を支払う。
- 当社は、リサイクル製品を経済的に持続可能なものにしていくうえで、関わるステークホルダーすべてに経済的利益が見込めることが重要と考えており、過去の取組においても、製造元・販売店に対してビジネスとして十分成立する価格設定を行ってきている。

5. 取組体制(3/3)

- ※ 中核企業の企業概要を記載ください。
- ※ 代表者略歴については、本事業の取組に生かせる業務経験や資格・スキル、自社が実施した類似の取組実績等を記載ください。
- ※ 事業概要については、業種や生産・営業品目に加え、中核企業の強み(得意分野、独自技術、設備、人材、知的財産等)を含めたPRを記載ください。
- ※ 必要に応じて、各項目の枠の大きさを調整してください。

(4)中核企業の企業概要

企業名	A株式会社		ホームページ URL	https://www.xxxxxxxx.com	
住所	都内拠点	東京都新宿区×× ○-○-○ ▲▲ビル1階			
	都外拠点	なし			
代表者氏名	〇〇 〇〇		設立年月(西暦)	創立年月	19xx年●月
				設立年月	19xx年●月
資本金	● 百万円		従業員数	● 名	
代表者略歴	〇〇大学卒業後、■■■株式会社を経て、19xx年当社入社。20xx年より現職。 ■■■株式会社では、プラスチック容器・梱包資材の開発に○年携わり、××××を商品化した実績を有する。 ■■■会事務局長、関東×××××組合副理事長、新宿区商工会議所青年部●●部会長を務める。 - SDGsやサーキュラーエコノミーへの取組を評価され、「SDGs認定講師」として、地域の小中学校や企業で出張授業や講演を行う(年間●件程度)。 ■■■資格、〇〇〇〇〇資格保有。				
事業概要	19xx年に▲▲の再生加工業として創業し、現在は主にプラスチックリサイクル業を行う。粉碎物だけでなく、××××や■■■■にも対応し、様々な形状のスクラップの再生が可能。 - 主な保有設備：●●機、●●機、××××粉碎機、▲▲▲破碎機、裁断機 等 - 生産高／取扱可能高(月間):xxxt／xxxt 20xx年に、SDGs目標3、4、5、9、10、11、12について「SDGs宣言」を行う。 - 従来は開示されていなかったリサイクル原料の混合比率・発生元企業・発生状況等のトレーサビリティをクラウド上でリアルタイムに情報共有できる業界初のシステムを構築。本取組により、20xx年「〇〇〇〇賞」を受賞。				

6. 取組スケジュールと達成目標(1/2)

- ※ 「2. 本事業における取組内容」に記載した取組項目別に、2026(令和8)年度を取組スケジュールを記載してください。
- ※ また、2026(令和8)年度終了時点の中間目標(KPI)を記載してください。
- ※ 必要に応じて、各項目の枠の数や大きさを調整してください。

取組項目	2026(令和8)年度				
	11月	12月	1月	2月	3月
取組項目(1)	「リサイクルベンチ」の試作品開発		試作品の完成		
取組項目(2)			公共施設での試験展示		結果とりまとめ 改良点の洗い出し
			ターゲット顧客へのニーズ調査		
取組項目(3)					
取組項目(4)					

2026(令和8)年度終了時点の中間目標(KPI)

- 「リサイクルベンチ」の試作品(●台程度)の製造
- 試作品の試験展示(●カ所程度)
- テストマーケティングの実施(ベンチの利用者〇名程度、ベンチのターゲット顧客である企業〇社程度)

6. 取組スケジュールと達成目標(2/2)

- ※ 「2. 本事業における取組内容」に記載した取組項目別に、2027(令和9)年度を取組スケジュールに記載してください。
 ※ また、取組終了時点の最終目標(KGI)を記載してください。
 ※ 必要に応じて、各項目の枠の数や大きさを調整してください。

取組項目	2027(令和9)年度									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
取組項目(1)										
取組項目(2)										
取組項目(3)	試作品の改良			★ 改良品の完成						
取組項目(4)	生地(布/レザー)供給元の開拓									
	クリーンセンターの開拓									
				大手メーカーとの製造委託契約の締結						★ 締結
				E社を中心としたBtoB向け販路の開拓						
					★ 展示会出展			★ 野外イベント出展		★ 野外イベント出展

2027(令和9)年度終了時点の最終目標(KGI)

- 改良した「リサイクルベンチ」の製造(●台程度)
- 地域内のサプライチェーンの構築(クリーンセンター○カ所、張地の供給元○社)

7. 希望するハンズオン支援内容について

- ※ 「2. 本事業における取組内容」に記載した取組項目別に、本事業の事務局による支援を希望する内容があれば、できる限り具体的に記載してください。
- ※ ハンズオン支援の例は、募集要項5ページを参照してください。なお、記載いただいたすべての支援内容の提供を確約するものではありません。支援内容は、採択決定後の支援対象事業者と事務局との協議を踏まえて決定します。
- ※ 必要に応じて、各項目の枠の大きさや数を調整してください。

取組項目	希望する支援内容
取組項目(1)	
取組項目(2)	● 「リサイクルベンチ」の試作品を展示できる公共施設等の紹介 ● テストマーケティングで実施するアンケートの設計や分析 ● ニーズ調査を行う企業の紹介
取組項目(3)	● レザー生地のご供給元となるタンナー(なめし革業者)の紹介
取組項目(4)	● 廃棄プラスチックの回収先となるクリーンセンターの紹介 ● 「リサイクルベンチ」の販売先となる全国の公共施設や不動産ディベロッパーの紹介 ● 展示会や野外イベントへの出展支援 ● 大手メーカーとの共同開発契約の締結について助言いただける専門家(弁護士等)の紹介

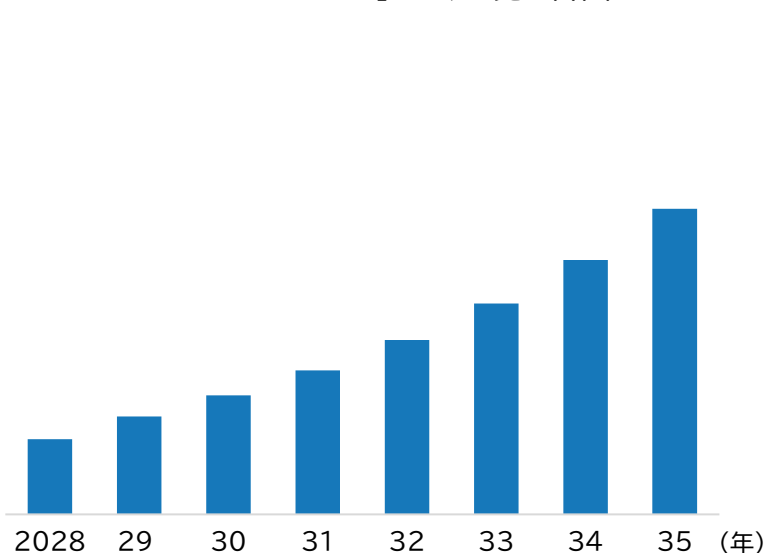
8. 本取組によって期待される効果(1/2)

- ※ 「[2. 本事業における取組内容](#)」によって期待される効果を記載してください。
- ※ 記載にあたっては、できる限り定量的な数値を用いる等により、「取組以前」と「取組後」の変化がわかるように記載ください。
- ※ 「8. 本取組によって期待される効果」で最大3ページとしてください。
- ※ 必要に応じて、各項目の枠の大きさを調整してください。

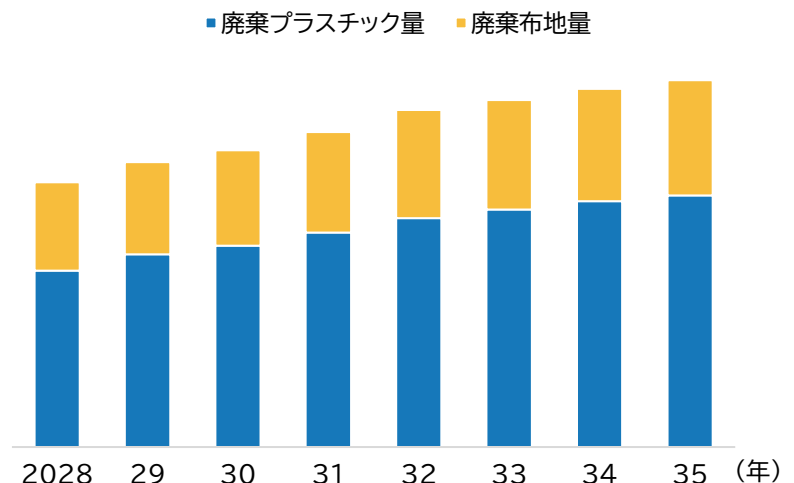
(1) 売上・付加価値・生産性等の向上

- 「リサイクルベンチ」の価格を●万円／台とし、年間xxxx台を販売した場合、「地域企業グループ」全体で年間●億円の売上が見込まれる。
- また、A社においては廃棄プラスチック■■■t、張地の供給元となるB社・C社においては廃棄予定の布生地■■■㎡がそれぞれ再利用される。

「リサイクルベンチ」の生産・売上計画



「リサイクルベンチ」による廃棄プラスチック量及び廃棄布地の削減量の推移



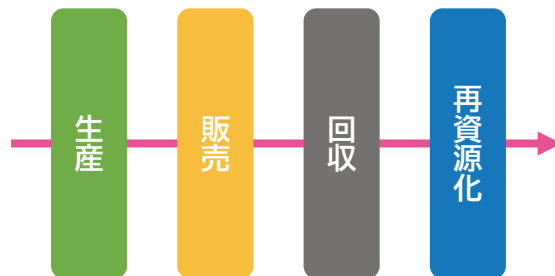
8. 本取組によって期待される効果(2/2)

- ※ 「2. 本事業における取組内容」によって期待される効果を記載してください。
- ※ 記載にあたっては、できる限り定量的な数値を用いる等により、「取組以前」と「取組後」の変化がわかるように記載ください。
- ※ 「8. 本取組によって期待される効果」で最大3ページとしてください。
- ※ 必要に応じて、各項目の枠の大きさを調整してください。

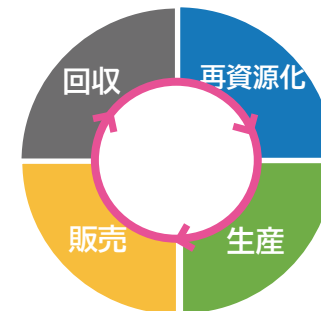
(2)「地域企業グループ」におけるビジネスモデルや業務プロセスの変革

- 中核企業であるA社においては、廃棄物処理業者からリサイクル商品を企画・設計する「リサイクルメーカー」への業態転換が進展する。
- 張地の供給元となるB社・C社においても、これまでの大量生産・大量廃棄から脱却し、アパレル資材の製造から廃棄までの過程を通じた環境負荷を低減できる。
- 上記のように、それぞれの課題を抱える動脈(製造・販売)産業と静脈(廃棄物回収・処理)産業が地域内で連携することで、双方の課題を解決するサーキュラーエコノミー型のサプライチェーンが構築される。各社が保有する資源を再利用するサーキュラーエコノミー型のサプライチェーンにおいては、A社・B社・C社が新たな設備投資を必要としないため、最小限のコストで「作れば作るほど利益が出る」仕組みを構築できる。

【取組以前のサプライチェーン】



【取組後のサプライチェーン】



(3)同業他社や地域産業への波及効果

- 「リサイクルベンチ」のサプライチェーンを地域内で構築することで、地域における廃棄物処理業者(●社)、張地の供給元となるアパレル業、繊維卸売業、なめし革加工業(タンナー)等が、廃棄物や在庫となった残材を有効活用し、新たな収益源を獲得できる。
- さらに、本取組で構築するサプライチェーンは、他地域においても水平展開が可能のため、本取組の成果を全国に発信することで、各地域においても同様のビジネスモデルを構築できる可能性がある。

9. 補足資料

- ※ 提案内容を補足するデータ、概念図、既存製品・サービス・システム等の画像、その他図表等があれば記載ください(任意様式)。
- ※ 補足資料は最大3ページ以内としてください。

(略)